

A 案内は届いているか

標準 | 8問 | 目安 25分

オリジナル本文 複数回答の数値と、案内文の目的を結び付ける。

名前

実施日

月

日

- ① 青葉中学校の広報委員会は、行事の案内が生徒にどう届いているかを調べた。これまでは紙のプリントを中心に伝えていたが、委員の中には、電子配信に一本化すれば見落としがなくなるという意見もあった。そこで、方法を変える前に、実際にどの案内を読んだかを確認することにした。表は、調査に回答した生徒についての結果であり、全校生徒全員の結果ではない。
- ② 調査では、前の一週間に行事の日時と場所を確認した方法を、使ったものすべてについて答えてもらった。一人で紙と電子配信の両方を読んだ生徒もいる。したがって、表の人数を足しても、回答した生徒の人数にはならない。集計時には方法別の合計だけを保存し、個人ごとの回答は残さなかった。どの方法を組み合わせたかは記録に残っていないので、紙だけで確認した生徒や、電子配信だけで確認した生徒が何人いたかも分からない。
- ③ 委員会では、紙の利用者が最も多いことを理由に、「紙だけを残せばよい」という案が出た。一方、別の委員は、「電子配信も多く使われている。どちらか一つで全員に届くとは、この表だけでは言えない」と指摘した。委員会は当面、紙と電子配信を併用し、同じ情報には同じ更新日を付けることにした。方法が複数あっても、古い案内と新しい案内が混ざれば、別の混乱が生じるからだ。
- ④ 二日後、行事の会場が変更されたため、資料二の案内を出した。この案内では、変更した情報を冒頭に置き、変わらない日時も一緒に示した。また、質問先を一つにそろえた。委員会は、届く方法を増やすだけでなく、受け取った人が何を変更し、何をそのままにすればよいか分かる伝え方を目指している。今後は、案内を読めなかった理由と、方法の組み合わせも追加で調べる予定だ。

A 案内は届いているか

標準 | 8問 | 目安 25分

資料 本文と合わせて読みましょう。

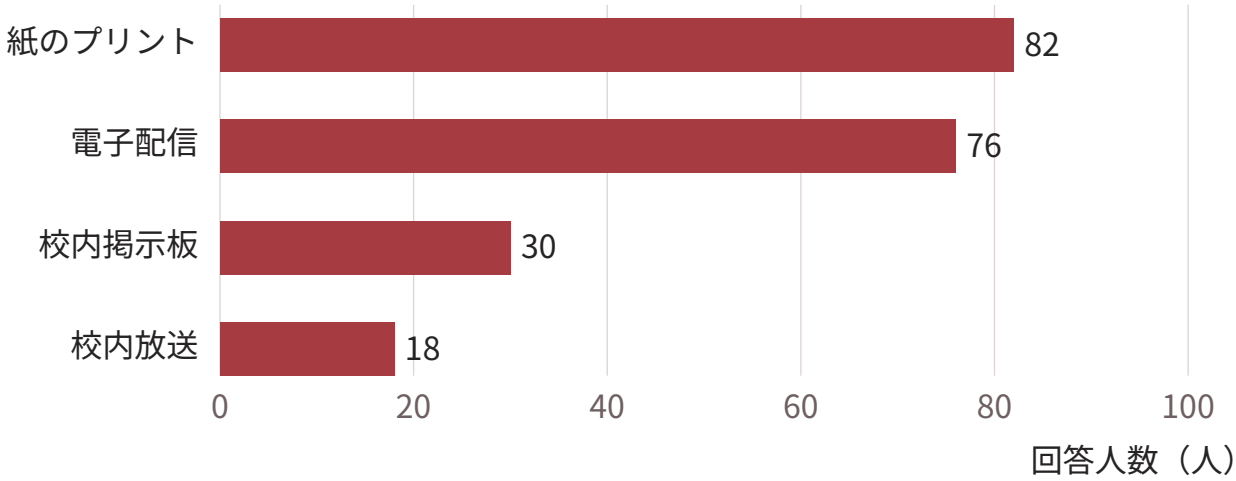
資料一 案内の確認に使った方法

架空の調査データ。青葉中学校の全校生徒360人のうち、調査日に各学年から抽選した40人ずつ計120人に実施し、120人全員が回答。2026年9月14日調査。対象期間は9月7～13日。複数回答。単位：人。実在する調査・統計ではありません。

確認に使った方法	回答人数
紙のプリント	82
電子配信	76
校内掲示板	30
校内放送	18

グラフ 資料一と同じ回答人数

架空の調査データ。回答者120人、複数回答。棒の長さは人数。



A 案内は届いているか

標準 | 8問 | 目安 25分

資料 本文と合わせて読みましょう。

資料二 会場変更の案内

オリジナルの架空の案内文。更新日：2026年9月16日。

項目	案内内容
変更すること	9月19日の読書交流会の会場は、図書室から多目的室へ変更します。
変わらないこと	開始は午後1時30分、終了は午後2時30分です。
参加方法	申込済みの人は再申込不要です。当日は変更後の会場へ来てください。
問い合わせ	質問は広報委員会の受付へまとめてお知らせください。

本文・資料・設問は本教材のために作成したオリジナルです。登場する学校・施設・人物・計画は架空です。表とグラフは架空の調査データです。

問いに答えよう 句読点・かぎカッコも一字です。

問1 資料一の人数が直接表している範囲を一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 全校生徒360人全員が一週間に使った方法
- イ 各方法を一度も使わなかった生徒の人数
- ウ 抽選で選ばれ回答した120人が対象期間に使った方法
- エ 調査日の翌週に交流会へ出席した生徒の人数
- 選んだ記号を○で囲みましょう。

問2 資料一の人数の合計が120人を超える理由を、三十字以上四十五字以内で説明しなさい。

																					20
																					40
																					45

A 案内は届いているか

標準 | 8問 | 目安 25分

本文・資料は問題1～3ページ。句読点・かぎカッコも一字です。

問3 紙のプリントを使った回答人数は、電子配信より何人多いですか。

問4 資料一だけでは判断できないものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 四つの方法の中で、回答人数が最も少ないもの
- イ 電子配信だけで日時と場所を確認した生徒の人数
- ウ 紙のプリントを使ったと回答した人数
- エ 掲示板を使った人数と放送を使った人数の差
- 選んだ記号を○で囲みましょう。

問5 本文と資料二から、複数の方法に同じ更新日を付ける目的を、三十五字以上五十五字以内で説明しなさい。

																					20
																					40
																					55

A 案内は届いているか

標準 | 8問 | 目安 25分

本文・資料は問題1～3ページ。選択問題は記号を○で囲みなさい。

問6 資料二に従った申込済みの生徒の行動として、正しいものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 図書室へ午後1時30分に行き、当日もう一度申し込む。

イ 多目的室へ午後2時30分に行き、参加申込をする。

ウ 交流会は中止と考え、広報委員会へ返金を求める。

エ 再申込せず、9月19日午後1時30分に多目的室へ行く。

選んだ記号を○で囲みましょう。

問7 「紙の利用者が最多なので、電子配信は不要だ」という意見を、この資料だけでは採用できない理由を、四十五字以上七十字以内に説明しなさい。

[illegible]

問8 方法を一つに絞ってよいか考えるため、どんな質問を追加すべきですか。資料の不足と質問内容を対応させ、五十字以上八十字以内で書きなさい。

[illegible]

見直し

- ☐ 問いの対象を確かめた ☐ 根拠を本文・資料で確認した
☐ 指定語と字数を守った ☐ 想像した事実を加えていない

B 定員のある体験会

標準から応用 | 8問 | 目安 30分

オリジナル本文 案内の条件と集計結果を照合して、結論の範囲を定める。

名前		実施日	月	日
----	--	-----	---	---

- ① 市民館では、地域の仕事を知る体験会を企画した。陶芸、木工、染め物の三講座を同時に開き、一人が参加するのは一講座とした。申込案内には、定員を超えた講座だけ抽選し、定員以内なら申込者全員を受け付けると書いた。表は最初の申込期間が終わった時点の結果であり、当日に参加した人数ではない。担当者は、この区別を広報記事でも明確にしたいと考えている。

② 記事の草案には、「陶芸は人気が高いので、今回は木工と染め物をやめ、すべて陶芸にする」とあった。確かに、今回は陶芸の申込者が最も多い。しかし、同じ時間に一講座しか選べないため、第二希望や、日時が合わず申し込まなかった人の希望は表に現れない。今回選ばれた数だけで、他の体験が地域に必要なとまでは言えない。

③ 別の草案には、「全体の定員は百八十人で、申し込みは百五十人だから、抽選は必要ない」とあった。だが、道具や講師の人数は講座ごとに決まっており、空席をそのまま別の講座へ移すことはできない。陶芸には六十人を超える申し込みがあるので、案内どおりなら抽選が必要になる。全体の余裕と、一講座の受け入れ可能数は別の問題なのである。

④ 市民館は、抽選に外れた人へ、空席のある講座に希望を変更するかを尋ねる予定だ。ただし、本人の希望を聞かずに振り分けることはしない。また、実際に席が埋まるかは、変更希望と参加確認が終わるまで分からない。担当者は今回の申込状況を伝える記事と、次回の企画を考えるための調査を分け、どこまで決まり、何が未確定かを表示することにした。

B 定員のある体験会

標準から応用 | 8問 | 目安 30分

資料 本文と合わせて読みましょう。

資料一 第一回申込の集計

架空の調査データ。対象：2026年10月1～7日に市民館の体験会へ申し込んだ150人全員。重複申込なし。一人一講座を選択。単位：人。実際の参加人数ではありません。

講座	定員	申込者
陶芸	60	72
木工	60	36
染め物	60	42
合計	180	150

資料二 申込案内 抜粋

本教材用のオリジナル案内。

項目	内容
開催	2026年10月25日 午前10時～正午。三講座とも同じ時間です。
参加条件	一人一講座。材料費は一人500円です。
決定方法	定員を超えた講座のみ抽選。定員以内の講座は申込者全員を受け付けます。
変更受付	抽選結果のお知らせ後、空席のある講座への変更希望を確認します。変更は本人の希望によります。

本文・資料・設問は本教材のために作成したオリジナルです。登場する学校・施設・人物・計画は架空です。表とグラフは架空の調査データです。

B 定員のある体験会

標準から応用 | 8問 | 目安 30分

本文・資料は問題6～7ページ。句読点・かぎカッコも一字です。

問1 資料一の数字について、正しい説明を一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 10月25日に出席した150人の講座別人数である。
 - イ 10月1～7日に一講座ずつ選んで申し込んだ150人の集計である。
 - ウ 変更受付が終わった後の、参加確定者180人の集計である。
 - エ 第一希望から第三希望まで選んだ150人の回答数である。
- 選んだ記号を○で囲みましょう。

問2 資料二どおりに決めた場合、抽選が必要な講座を答えなさい。

問3 陶芸で抽選によって受け付ける人を60人としたとき、当選しない人は何人ですか。辞退や重複はないものとします。

問4 全体の申込者が定員合計を下回っていても、抽選が必要な理由を、四十字以上六十字以内で説明しなさい。

																				20
																				40
																				60

B 定員のある体験会

標準から応用 | 8問 | 目安 30分

本文・資料は問題6～7ページ。選択問題は記号を○で囲みなさい。

問5 資料二から、確実に言えることを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 抽選に外れた人は必ず木工へ移される。

イ 材料費を1000円払えば、二講座に参加できる。

ウ 開催時刻も参加条件も、二講座を続けて受ける形にはなっていない。

エ 変更を希望した全員が、必ず希望どおりの講座に入れる。

選んだ記号を○で囲みましょう。

問6 「木工と染め物は地域に必要な」という草案の問題点を、四十五字以上七十字以内に説明しなさい。

[illegible]

問7 当選しない12人全員が木工へ移る、と現時点で書けない理由を、三十字以上五十字以内に説明しなさい。

[illegible]

問8 草案「150人全員の参加が決まり、最も人気の陶芸を今後増やすことになった」を、決定事項と未確定事項を分け、五十字以上八十字以内に書き直しなさい。

[illegible]

C 日陰を比べる調査

発展 | 8問 | 目安 30分

オリジナル本文 割合と人数、標本の範囲、因果と関連を区別する。

名前

実施日

月

日

- ① みどり公園の休憩場所を見直すため、地域の調査班が、利用者にどのベンチへ座ったかを尋ねた。日陰側と日なた側の二種類があり、座れる人数は同じである。表には、二日間の各調査時間に初めて公園を訪れ、回答に協力した人を一人一回だけ数えた。ただし、調査は公園の全利用者を網羅しているわけではなく、雨の日や夕方の様子も分からない。

② 一日目より二日目のほうが、日陰側を選んだ人数が多かった。これだけを見ると、日陰を選ぶ人の割合も上がったように思える。しかし、回答者全体の人数も違っている。人数は「何人か」を表し、割合は「全体の中でどれだけか」を表す。どちらを比べたいのか決めずに数字を読むと、同じ表から逆向きの印象を受けることがある。

③ 調査班は、二日目のほうが気温も高かったため、「気温が上がると日陰を選ぶ人が増える」と報告書に書こうとした。けれども、二日間では、来園者の年齢構成や来た目的も同じとは限らない。日陰側に先客がいて座れなかった人がいたかも調べていない。二日分の集計だけで気温が選択を変えた原因だと言い切ることはできない、と班員から指摘された。

④ そこで報告書では、調査した日時、回答した人の範囲、実際に得た人数と割合を示し、原因については仮説として分けて書くことにした。追加調査では、日数を増やすだけでなく、座りたい場所と実際に座った場所の違い、その理由も尋ねる予定である。利用の事実から希望をそのまま読み取らず、選べなかった条件も確かめようとするためだ。

資料一 ベンチ利用の聞き取り

架空の調査データ。2026年8月4日と5日、各日午前10時～11時に、みどり公園をその日初めて訪れ、ベンチを利用して聞き取りに協力した人。一人一回、選択肢は二つ。日をまたぐ同じ人の有無は未確認。単位：人。割合の分母は各日の回答者数。

調査日	日陰側	日なた側	回答者合計	調査時の気温
8月4日	30	20	50	28℃
8月5日	36	44	80	31℃

C 日陰を比べる調査

発展 | 8問 | 目安 30分

資料 本文と合わせて読みましょう。

資料二 報告書の表現案

オリジナルの草案。

案	文章
甲	日陰側を選んだ人は30人から36人に増えたが、回答者に占める割合は下がった。
乙	気温が3℃上がったことが原因で、日陰側の利用者が6人増えた。
丙	8月5日は、公園利用者全員のうち45%が日陰側に座りたかった。

本文・資料・設問は本教材のために作成したオリジナルです。登場する学校・施設・人物・計画は架空です。表とグラフは架空の調査データです。

問いに答えよう 句読点・かぎカッコも一字です。

問1 8月4日の回答者に占める日陰側の割合は何%ですか。

問2 8月5日の回答者に占める日陰側の割合は何%ですか。

問3 資料二の甲が正しい理由を、人数と割合の両方の数値を使い、三十五字以上五十五字以内で説明しなさい。

																					20
																					40
																					55

C 日陰を比べる調査

発展 | 8問 | 目安 30分

本文・資料は問題10～11ページ。句読点・かぎカッコも一字です。

問4 資料二の乙の問題点として最も適切なものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 日陰側の人数は、二日間で少なくなっている。
- イ 二日間の気温は、同じだったと本文にある。
- ウ 気温が高い日には、日陰側へ座ることができない。
- エ 来園者の特徴や席の空きなどを確かめず、気温を原因と断定している。
- 選んだ記号を○で囲みましょう。

問5 資料二の丙には、対象の範囲と数値の意味に二つの問題があります。五十字以上七十五字以内で説明しなさい。

																					20
																					40
																					60
																					75

C 日陰を比べる調査

発展 | 8問 | 目安 30分

本文・資料は問題10～11ページ。選択問題は記号を○で囲みなさい。

問6 追加調査で、座りたい場所と実際に座った場所を両方聞く目的を、三十五字以上五十五字以内で説明しなさい。

[illegible]

問7 資料一から直接には分からないものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 8月4日に日陰側を選んだ人のうち、翌日も日陰側を選んだ人数

イ 8月5日に日なた側を選んだ回答者の人数

ウ 8月4日と5日の回答者数の差

エ 各日の調査時間帯と、調査時に記録した気温

選んだ記号を○で囲みましょう。

問8 報告書の結論として、確かめた事実と残る課題を区別し、五十字以上八十字以内で書きなさい。

[illegible]

見直し

- ☐ 問いの対象を確かめた ☐ 根拠を本文・資料で確認した
☐ 指定語と字数を守った ☐ 想像した事実を加えていない

D 展示を長く開けるには

定期テスト対策 | 8問・100点 | 目安 35分

オリジナル本文 費用・人数・自由記述を合わせ、条件を満たす案を説明する。

名前		実施日		月		日	
----	----------------------	-----	----------------------	---	----------------------	---	----------------------

- ① 北町の小さな展示室では、地域の記録を紹介する特別展を三日間開く。実行委員会は、今の午前十時から午後四時までという開室時間では来られない人がいるかもしれないと考え、昨年の来場者へ、今年最も来やすい時間帯はどれかを尋ねた。回答者は昨年の来場者の一部であり、まだ展示室を知らない住民の希望までは、この調査から読み取れない。

② 集計では夜を選んだ人が最も多かった。委員の一人は「最多だから夜間延長案に決定しよう」と言った。しかし、延長には見守り係と追加費用が必要になる。実行委員会は、今回使える追加予算と、各時間帯に確保できる係の人数を先に確かめた。支持の多さだけでなく、安全に実施できるかどうか判断の条件にするためである。

③ 自由記述には、昼間は仕事で来られないという意見と、夕方なら家族と寄れるという意見があった。ただし、この二つは回答の例として選んだもので、それぞれの意見を持つ人数を示すものではない。また、夜を選んだ人が夕方にも来られるか、逆に夕方を選んだ人が夜にも来られるかは尋ねていない。候補時間は一つだけ選ぶ方式だったからだ。

④ 委員会は、現時点の条件で実施可能な案を選び、来場できる人の幅を広げる試行として行うことにした。一回で最善の時間帯が決まるとは考えていない。実施後は、延長時間帯の来場者数だけでなく、通常時間帯から移った来場者と、延長によって初めて来られた来場者をできる範囲で分けて確かめる。延長時間の人数が多いだけでは、新しい来場の機会が増えたとは限らないからである。

D 展示を長く開けるには

定期テスト対策 | 8問・100点 | 目安 35分

資料 本文と合わせて読みましょう。

資料一 来やすい時間帯の回答

架空の調査データ。2026年9月、昨年の特別展来場者240人へ同じ質問票を送り、回答した120人を集計。選択肢から一つだけ選択。単位：人。未回答120人の希望は不明。

来やすい時間帯	回答人数
午前10時～正午	24
正午～午後4時	18
午後4時～6時	30
午後6時～8時	48
合計	120

資料二 延長案と実施条件

架空の計画資料。金額は三日間合計の追加費用で、必要な経費をすべて含みます。各延長時間帯には係が毎日2人必要です。追加予算は9000円以内。現在確保できる係は、夕方は毎日2人、夜は毎日1人です。夜間案では午後4～6時はいったん閉室し、6時に再び開室します。この間は入場できません。どちらか一案のみ実施。

案	延長時間帯	三日間の追加費用	必要な係
夕方案	午後4時～6時	6000円	毎日2人
夜間案	午後6時～8時	9000円	毎日2人

D 展示を長く開けるには

定期テスト対策 | 8問・100点 | 目安 35分

資料 本文と合わせて読みましょう。

資料三 自由記述の例

架空の回答例。意見ごとの人数や代表性を示すものではありません。

回答例	内容
甲	日中は仕事があり、閉室時間までに着けません。
乙	夕方なら、家族と一緒に寄る予定を立てやすいです。

本文・資料・設問は本教材のために作成したオリジナルです。登場する学校・施設・人物・計画は架空です。表とグラフは架空の調査データです。

問いに答えよう 句読点・かぎカッコも一字です。

問1〔8点〕 資料一について正しいものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 昨年の来場者240人全員の希望を表している。

イ 昨年来場し、今回質問票に回答した120人の希望を表している。

ウ 地域の全住民のうち、半数が夜間を希望したことを表す。

エ 今年の特別展へ実際に来る120人の到着時刻を表す。

選んだ記号を○で囲みましょう。

問2〔8点〕 資料一で最多の時間帯を選んだ人は、回答者120人の何%ですか。

問3〔10点〕 資料二の現在の条件をすべて満たして実施できる案の一つを選び、記号を○で囲みなさい。

ア 夕方案だけ

イ 夜間案だけ

ウ 夕方案と夜間案のどちらも可能

エ どちらも不可能

選んだ記号を○で囲みましょう。

D 展示を長く開けるには

定期テスト対策 | 8問・100点 | 目安 35分

本文・資料は問題14～16ページ。句読点・かぎカッコも一字です。

問4〔12点〕 夜間案を、現在の条件では実施できない理由を、費用と係の人数の両方に触れ、三十五字以上五十五字以内で説明しなさい。

[illegible]

問5〔14点〕 資料三から読み取れることとして最も適切なものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 昼間に働く回答者は、必ず夜間しか来られない。

イ 家族と来たいという意見は、仕事の意見より人数が多い。

ウ 来やすさには仕事や家族との予定が関係する例があるが、意見ごとの人数は分からない。

エ この二人の意見を合計すれば、残る118人の希望も推定できる。

選んだ記号を○で囲みましょう。

問6〔16点〕 夜を選んだ48人も夕方に来られる、と言い切れない理由を、三十字以上五十字以内で説明しなさい。

[illegible]

D 展示を長く開けるには

定期テスト対策 | 8問・100点 | 目安 35分

本文・資料は問題14～16ページ。選択問題は記号を○で囲みなさい。

問7〔16点〕 延長時間帯の来場者数だけで、来場の機会が増えたと判断できない理由を、四十字以上六十字以内で説明しなさい。

																					20
																					40
																					60

問8〔16点〕 現時点の委員会の提案文を、資料一～三と本文に基づき、七十字以上百字以内で書きなさい。実施する案、その理由、結果を確かめる際の注意を含めること。

																					20
																					40
																					60
																					80
																					100

見直し

- ☐ 問いの対象を確かめた
- ☐ 根拠を本文・資料で確認した
- ☐ 指定語と字数を守った
- ☐ 想像した事実を加えていない